

青谷 しおかぜコース (全長6.3km)

8 鉤型辻



この鉤型辻は、江戸時代の地図にもある。城下町に見られる防備上のもので、敵に行き止まりと見せかけるもの。港町青谷の場合は…?

7 津出口跡



明治末まで、青谷湊（港）は青谷川（勝部川下流）の河口を利用した、廻船の発着する、天然の港であった。今でも積み荷を運んだ津出口が残っている。

6 湊神社



もとは湊八幡宮と称する。境内には、港町だった青谷の廻船問屋の商人たちが奉納した灯籠が12基、赤間関（下関市）の商人から寄進された狛犬がある。

5 青谷海岸



青谷海岸は、岬に挟まれた日本有数の鳴り砂の浜。波打ち際の乾いた砂浜を歩くと、クックツと軽やかな音色が響く。音が鳴るのはきれいな砂浜である証拠。

4 夏泊と海女



夏泊は、約400年前に鹿野城主亀井公によって開かれた漁村。この海岸では、貝や海藻を採る海女漁が当時から代々受け継がれている。

3 長尾鼻と獅子岩



長尾鼻は、日本海の怒涛に浸食された断崖絶壁、洞門、奇岩などが連続する、板状安山岩でできた溶岩台地の岬。獅子岩は奇岩の代表格。

1 日本海パノラマ1



ここから青谷のまちと雄大な日本海を望むことができる。この日本海を真北に進めば、ロシアのウラジオストク付近に至る。

2 日本海パノラマ2



ここからは、天気が良ければ、遥か遠くに大山と弓ヶ浜、さらには島根半島を臨むことができる。よく晴れた日には隠岐の島が見えることもあるという。

9 青谷中町通り



かつて宿場町だった青谷のこの通りは、江戸時代の山陰道で、商家や旅籠が並ぶにぎやかな通りだった。今でも古い民家が残っている。

10 専念寺



慶長3年（1598）創建の浄土宗の寺で、清蓮山（せいれんざん）専念寺と号する。参道や境内にある幕末の名石工、川六作の地藏尊が出迎えてくれる。

11 潮津神社



元は、王子権現と呼ばれ、大国主命と八上姫、菅原道真をまつ。境内には幕末の名石工、川六作の狛犬がある。

